

# 県と協会けんぽ香川支部の協働事業「事業所まるごと健康宣言」



「優良取組事業所」に選ばれた各事業所の代表

県と全国健康保険協会(協会けんぽ)香川支部は昨年7月から、働き盛り世代の健康づくりを支援する「事業所まるごと健康宣言」事業を進めている。少子高齢化で労働人口が減少する中、注目されているのは従業員の健康増進が将来的に企業の収益性を高めるという「健康経営」の考え方。大切な従業員と家族を守るため、さらに会社を飛躍させるため、「今こそ健康宣言を！」

## 12事業所を表彰

と参加事業所を募集している。

働き盛り世代の生活習慣病は増加しており、厚生労働省の2014年調査では県内に住む40~64歳の死亡原因の約7割を生活習慣病が占めた。これを改善するため、事業所ぐるみで健康づくりに取り組んでもらおうと、両者が協働して始めたのが同事業。同支部に加入する中小企業や小規模事業所を対象に、従業員の健康づくりを積極

的に支援する事業所を認定、表彰している。

現在、100社が「宣言」。8月に第1回表彰式を行い、取り組み項目に応じて得点を加算する「得点部門」と、得点にかかわらず優れた取り組みを実践した「事例部門」の両部門でそれぞれ知事賞と支部長賞を選び、計12事業所を表彰した。表彰を受けた各事業所の取り組みを紹介する。

(企画制作・四国新聞社広告局)

## ワークライフバランス浸透

事例部門 一知事賞  
四国酸素(高松市)



グループワークミーティングを行う四国酸素の社員ら(高松市朝日町)

子どもが急に熱を出せば早退は当たり前。1人が残業をするほどの仕事を抱えれば、朝のうちに他の社員に振り分け、みんなが定時の退社を目指す。以前からワークライフバランス(仕事と生活の両立)の意識が浸透し、家庭的な職場環境が社員の健康を支えている。  
高圧ガスの卸売業として重たいポンペなどを運ぶ力仕事が多いため、以前は栄養が偏った高カロリー食の食事を取ったり、腰痛などを抱えたりする男性社員が目立った。しかし5年ほど前、家庭を持つ30歳代を中心に改善機

子どもが急に熱を出せば早退は当たり前。1人が残業をするほどの仕事を抱えれば、朝のうちに他の社員に振り分け、みんなが定時の退社を目指す。以前からワークライフバランス(仕事と生活の両立)の意識が浸透し、家庭的な職場環境が社員の健康を支えている。  
高圧ガスの卸売業として重たいポンペなどを運ぶ力仕事が多いため、以前は栄養が偏った高カロリー食の食事を取ったり、腰痛などを抱えたりする男性社員が目立った。しかし5年ほど前、家庭を持つ30歳代を中心に改善機  
子どもが急に熱を出せば早退は当たり前。1人が残業をするほどの仕事を抱えれば、朝のうちに他の社員に振り分け、みんなが定時の退社を目指す。以前からワークライフバランス(仕事と生活の両立)の意識が浸透し、家庭的な職場環境が社員の健康を支えている。  
高圧ガスの卸売業として重たいポンペなどを運ぶ力仕事が多いため、以前は栄養が偏った高カロリー食の食事を取ったり、腰痛などを抱えたりする男性社員が目立った。しかし5年ほど前、家庭を持つ30歳代を中心に改善機

## 健康スローガンで意識改革

得点部門 一知事賞  
カナック(高松市)



健康スローガンを指さしながら唱和するカナックの社員(高松市三谷町)

「私の健康、家族の笑顔」。毎日の朝礼で全員が指をさしながら唱和する健康スローガン。社員自らが健康を意識し、生活習慣を改善するきっかけになればと昨秋から始めた日課だ。建設業として社員の意識付けに効果を発揮している安全スローガンの方式を応用。社員から文言を募集し、社員が選考した。  
若手の人材が集まりにくい時代、「社員に長く働いてもらうには一人一人の健康が欠かせない」。本紙で「健康宣言」の記事を読んだ石橋雄二社長(61)はすぐに取り組みを開

「私の健康、家族の笑顔」。毎日の朝礼で全員が指をさしながら唱和する健康スローガン。社員自らが健康を意識し、生活習慣を改善するきっかけになればと昨秋から始めた日課だ。建設業として社員の意識付けに効果を発揮している安全スローガンの方式を応用。社員から文言を募集し、社員が選考した。  
若手の人材が集まりにくい時代、「社員に長く働いてもらうには一人一人の健康が欠かせない」。本紙で「健康宣言」の記事を読んだ石橋雄二社長(61)はすぐに取り組みを開  
また、精神面を含む体調の悪化を早期に発見するため、社長や上司が積極的に声掛けし、相談しやすい職場環境をつくった。このほか、ボーリング大会の開催、マラソンなどのグループ活動に助成金の支給、社内ホームページに健康コーナーの創設、健康に関する出前講座の受講など、さまざまな取り組みを進めている。  
宣言から約1年。検診や再検査の受診率は上がり、「たばこをやめた。本数を減らした」「好きな甘いものを控えるようになった」などの声が聞かれ、効果が見え始めているという。

## ◎「優良取組事業所」

### 得点部門

一知事賞

#### 医療法人社団みどり会(多度津町)

- 職員を対象に毎月、体組成測定を実施。データが改善した人を優良者として表彰する。
- 食堂でサラダバーを無料提供。野菜から食べるように指導し、肥満防止につなげる。

#### 国村不動産・グループホーム愛の里(高松市)

- 健康づくり講習会などに積極的に参加。その内容は社内勉強会を通じて周知し、全体の取り組みに広げる。
- 毎日、ラジオ体操を実施。月1回以上の血圧測定を行い、体調管理の重要性について意識を高める。

#### 県聴覚障害者協会(高松市)

- 職員が個別に健康づくりの目標を設置。それを広報誌に掲載するなどして実践をサポートする。
- 昼食時、「まず野菜」と職員同士が声を掛け合い、全員

#### イナダ(三豊市)

- 社員の意識向上を図るため、さまざまな健康づくり出前講座を積極的に受講する。
- 社内で健康づくりの担当者を決め、熱中症、インフルエンザなど季節に応じた対策を講じる。

#### 新光電装(丸亀市)

- 作業前に60歳以上の社員の血圧を測定。部署ごとに健康管理を行う。
- 社田車内の全面禁煙を実施。社内全体で受動喫煙防



# 今こそ「宣言」を!